

オレアスファ水とは

オレアスファ水は安全性を重視して生成された、

微酸性次亜塩素酸水(HClO)です。

・オレアスファ水とは

- ・食品添加物認定の次亜塩素酸ナトリウム (NaClO) と希塩酸 (HCl) を希釈混合し、中性領域にpH調整した微酸性次亜塩素酸水 (HClO) です。
- ・従来の殺菌剤である次亜塩素酸ナトリウムはアルカリ性であるため、手荒れ・漂白・臭いなど人体などに影響を及ぼす恐れがありますが、オレアスファ水は中性領域に安定させることにより、人体や環境に優しく、無害な除菌消臭水となります。

オレアスファ水の特徴

中性領域で生成

pH6.8~7.0の中性領域で生成しているため、人体・動物・環境に優しく、無害な水溶液です。
(pH6.8で出荷しております。)

塩素が残留しない

菌・ウイルス(有機物)と反応すると水に戻る性質を持っているため、塩素が残留せず安全にお使いいただけます。

空間噴霧で空間除菌

安全性が高いため、他塩素系商材では難しい、人がいる場所での空間噴霧が可能です。空間に噴霧することで周囲への感染や悪臭の広がりを阻止します。

短時間で強力除菌・消臭

浸け置きしなければならないアルカリ性の塩素系商材に比べ、80倍の速さで有機物を分解するため、除菌・消臭に即効性があります。

・商品概要

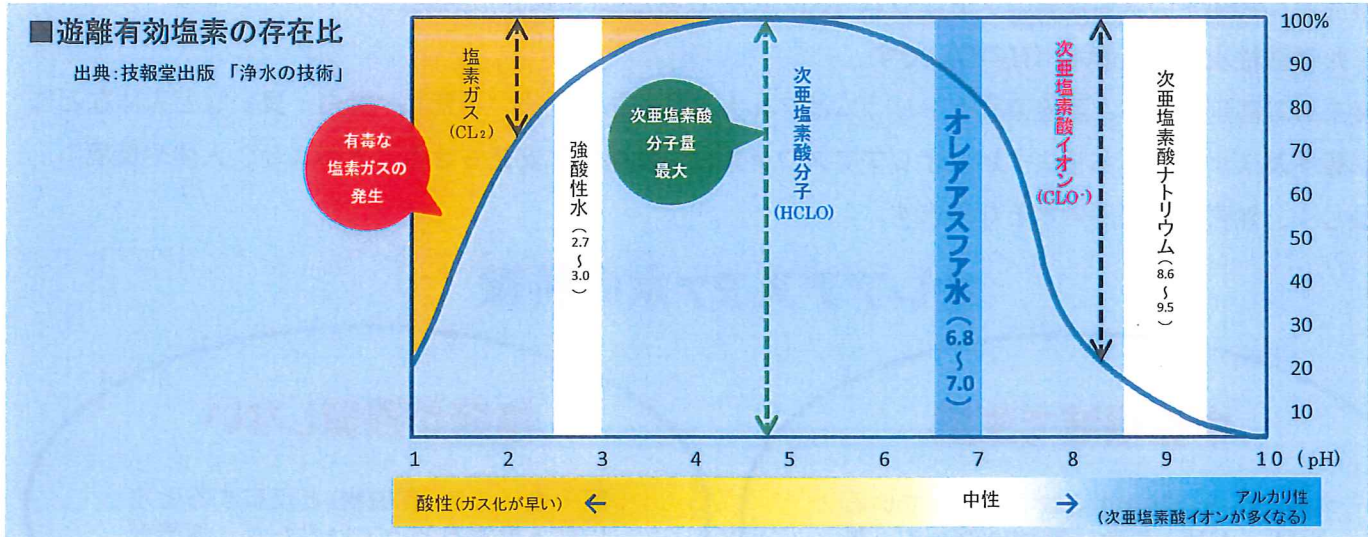
原 料	次亜塩素酸ナトリウム (厚生労働省認可食品添加物殺菌料)
	希塩酸 (厚生労働省認可食品添加物)
	ろ過水
p H 領 域	ほぼ中性 (pH6.8~7.0)
濃 度	100ppm (一般的に使用)
	200ppm (ノロウイルス嘔吐物処理用に使用)
用 途	除菌・消臭
分 類	一般雑貨

※中性領域に安定させているため、希釈せず原液のままご使用下さい。

従来の塩素商材との違い

・遊離有効塩素の存在比

- ・オレアスファ水は中性領域に安定させているため、有機物の分解力に優れている**次亜塩素酸分子**を多く含んでいます。
- ・次亜塩素酸ナトリウムを主成分とするアルカリ性の塩素商材は、**次亜塩素酸イオン**を多く含みます。

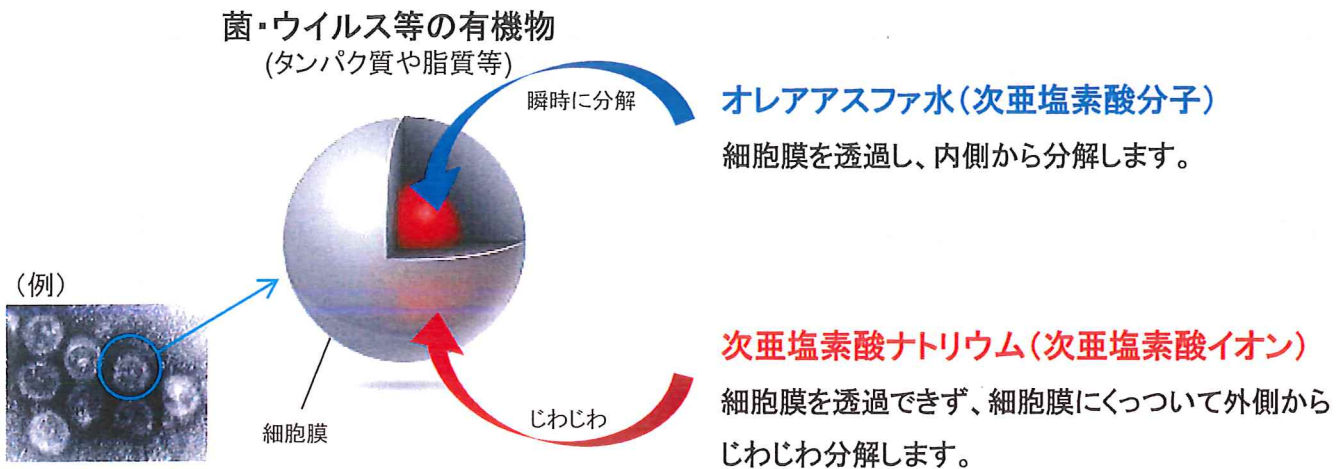


・次亜塩素酸分子と次亜塩素酸イオンの違い

次亜塩素酸分子と次亜塩素酸イオンは、感染や悪臭の原因となる有機物を分解する際のメカニズムが異なります。

オレアスファ水の成分である次亜塩素酸分子は有機物にぶつかるとその細胞膜を透過し、内側から分解します。それに対し次亜塩素酸イオンは細胞膜にくっついて外側から分解していきます。

(下図はオレアスファ水と一般的な除菌剤の次亜塩素酸ナトリウムを比較したものです。)



次亜塩素酸分子は次亜塩素酸イオンに比べ、有機物の分解速度が80倍速い。

(アメリカ環境保護局の調査)

・塩素の残留性

次亜塩素酸は有機物を分解すると、自身の効力も失う性質を持っています。

次亜塩素酸分子と次亜塩素酸イオンの分解速度の差が、塩素の残留性に関係します。

次亜塩素酸イオン



分解に時間がかかる

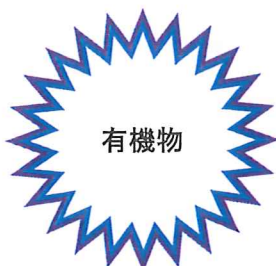


分解速度が遅い



その間、塩素が残留し続ける

次亜塩素酸分子



分解速度が速い



分解速度が速い



塩素が残留しない

分解速度が速いオレアスファは塩素が残留しないので安心・安全です！

・従来の塩素＝次亜塩素酸ナトリウムとの違い

次亜塩素酸ナトリウム	オレアスファ水
☆分解力が強い	☆分解力が強い
★分解速度が遅い	☆分解速度が早い
★浸漬後、流水で洗い流す必要がある	☆流水で流す必要がない（気になる場合は流して下さい）
★手荒れを起こす	☆肌にも優しい
★空間噴霧はできない	☆空間噴霧もできる
★使用の度に希釈する	☆希釈せずに原液のまま使用
★有機物を分解する際に、発がん性物質「トリハロメタン」を副産する	☆有機物を分解する際に、発がん性物質「トリハロメタン」を副産しない
☆漂白する ※1	☆漂白しない

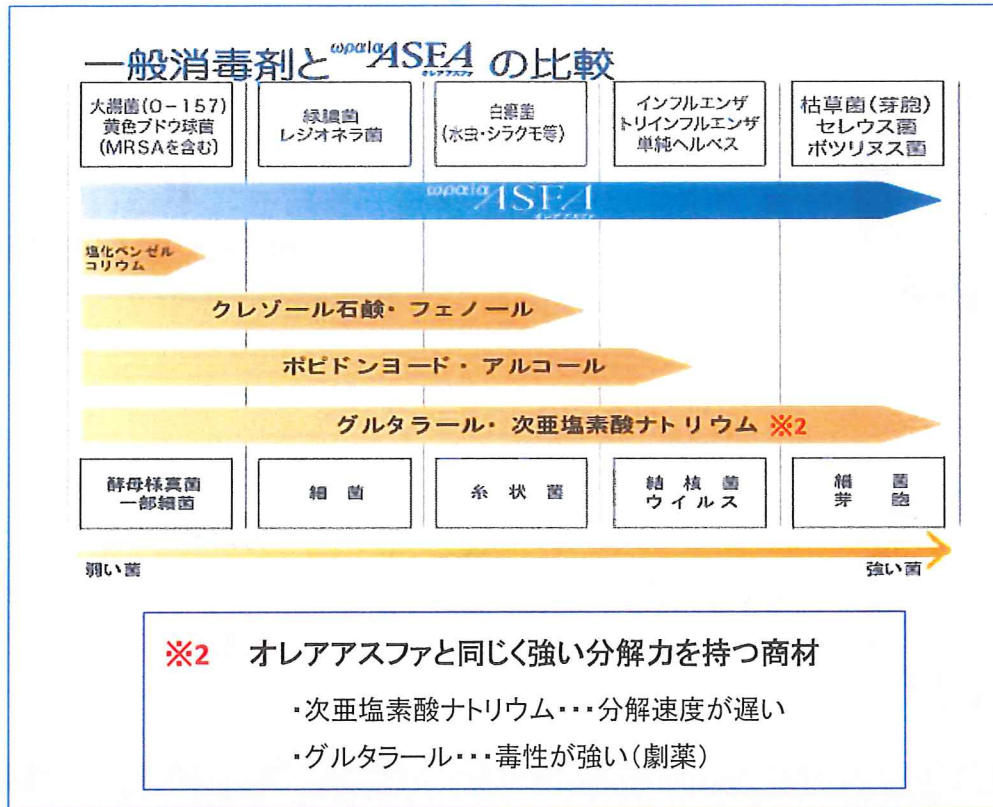
※漂白は用途によってメリットでもあるので、★で表しています。

強力除菌

強力な分解力と範囲

オレアスファ水は有機物に対する分解力に優れ、細菌・真菌・ウイルスなど、弱い菌から強い菌まで分解します。

アルコールでは分解できないノロウイルスにも有効です。



<各種ウイルス不活化試験結果>

調査ウイルスと試験条件				
ウイルス	遺伝情報物質	エンベロープ	オレアスファ水濃度 [ppm]	時間 [分]
インフルエンザウイルス	RNA	有	100	3
トリインフルエンザウイルス(H7N1)	RNA	有	50	1
ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替ウイルス)	RNA	有	200	10
ヒト単純疱疹ウイルス	DNA	無	50	1

検査機関: K大学

